

和歌山市 大規模雨水処理施設整備事業計画書

【改築更新】

新堀排水区・大淀排水区

和歌山市 新堀排水区・大淀排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	新堀排水区・大淀排水区では下水道を整備してから38年～42年が経過しており、雨水幹線や新堀雨水ポンプ場及び大淀雨水ポンプ場などの雨水処理施設の老朽化が進行している。これらの施設について集中的な改築を実施し、雨水排水能力を増強することにより浸水被害を防止する必要がある。
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：50mm/hr ・目標とする理由：和歌山市公共下水道事業計画で定める 50mm/hr とする。 ・ハード整備による整備水準の目標：50mm/hr <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設 62 箇所の床上浸水を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：浸水被害を最小限にとどめる。 iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。 iv) その他：特になし <p>③ ハード対策、ソフト対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策 施設整備により 50mm/h の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策 下水道管理者による内水ハザードマップ公表などの情報提供により、浸水被害をできるだけ小さくする。

項目	内容・施策等		
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (平成 28 年 3 月策定済み) ・ 策定予定 		
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新堀雨水ポンプ場の改築 雨水ポンプ 排水能力 610m³/分×2 台 ・ 大淀雨水ポンプ場の改築 雨水沈砂池 (除塵機、搬出機他) 3 池

				雨水ポンプ 排水能力 254m ³ /分×1 台 排水能力 7.8m ³ /分×2 台
		ソフト 対策	下水道管理者	・内水ハザードマップの公表

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

* 下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

年度計画（百万円）

名称	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
新堀雨水 ポンプ場	473		300				20	450	200	200	1,643
大淀雨水 ポンプ場	214	300		300	300						1,114
計	687	300	300	300	300		20	450	200	200	2,757

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・設置から38年が経過している新堀雨水ポンプ場施設について、老朽化したポンプ設備を改築し、雨水排水能力を1855m³/分（事業計画3415 m³/分）から2075m³/分（事業計画3415 m³/分）に既設ポンプ設備を増強することにより、雨水排水機能を適切に確保するとともに、将来的な増設にかかる事業費の縮減を図る。 ・設置から42年が経過している大淀雨水ポンプ場施設について、老朽化したポンプ設備及び沈砂池設備を改築することにより、雨水排水機能を適切に確保する。（1031.6m³/分）

(参考図面)

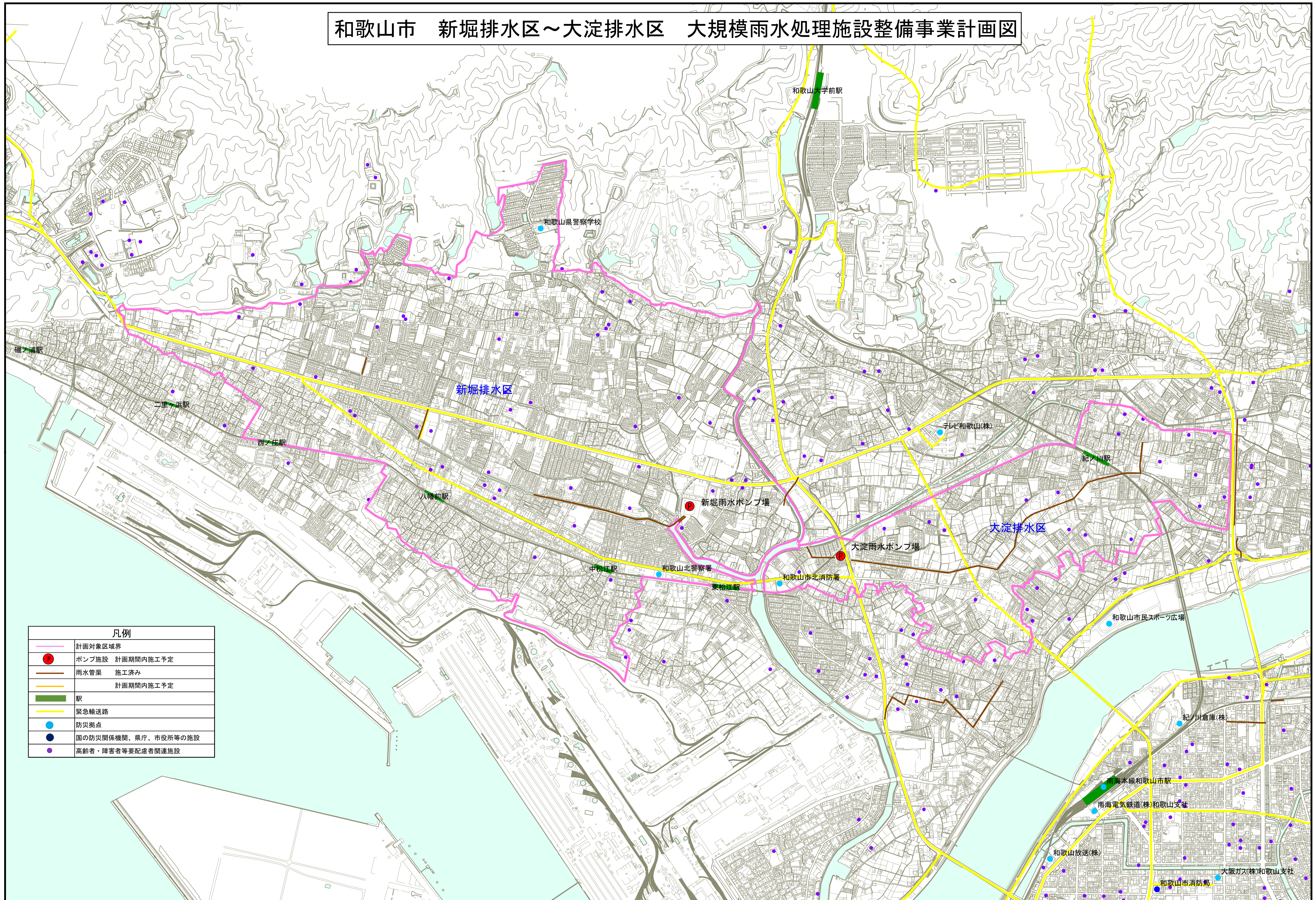
1. 使用図面

5,000～10,000分の1程度で計画内容がわかるようにする。

2. 図面記載内容

記載内容	色別	適用
貯留施設 施工済 計画期間内施工予定 集水区域	黒 赤 青	貯留施設を2～3mmの実線で書く。 施設名を記入。 集水区域を5mm幅程度で囲む。施工済の場合は黒で全体を薄く塗りつぶす。
浸透施設 施工済 計画期間内施工予定 整備区域	黒 赤 青	対象区域を5mm幅程度で囲む。 施設名を記入。 対象区域を5mm幅程度で囲む。
ポンプ施設 施工済 計画期間内施工予定	黒 赤	直径5mmの円にPで表現。 色で塗りつぶす。
雨水又は合流管渠 施工済 計画期間内施工予定	茶 橙	昭和46年10月9日付建設省告示第1705号の別表に定める基準に適合する管渠を1mmの実線で書く。 管渠名を記入。
計画対象区域界	桃	2mmの実線。
① 駅	緑	色で塗りつぶす。
② 災害対策基本法に基づく地域防災計画に位置付けられた施設(緊急輸送道路, 防災拠点等)	黄 水色	施設名を記入。 実線 緊急輸送路 防災拠点
③ 国の防災関係機関や県庁, 市役所等の施設	青	
④ 高齢者・障害者等要配慮者関連施設		
⑤ 床上浸水被害の未解消地区	水色	水色で全体を薄く塗りつぶす。
⑥ 下水道管理者以外の主体との連携により行われている整備	黄色	黄色で全体を薄く塗りつぶし, 事業主体と事業名を記載。
⑦ 防水ゲート, 止水板又は逆流防止施設		
⑧ 各戸貯留浸透施設		

和歌山市 新堀排水区～大淀排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画図



凡例	
	計画対象区域界
	ポンプ施設 計画期間内施工予定
	雨水管渠 施工済み
	計画期間内施工予定
	駅
	緊急輸送路
	防災拠点
	国の防災関係機関、県庁、市役所等の施設
	高齢者・障害者等要配慮者関連施設

和歌山市 しんぼり 新堀排水区・大淀排水区 おおよど 大規模雨水処理施設整備事業

- 新堀排水区・大淀排水区では下水道を整備してから38年～42年が経過しており、雨水処理施設の老朽化が進行している。
- これらの施設について、機能増強を伴う集中的な改築を実施し、適切な機能確保を図ることで浸水被害を防止する。

事業概要

- 事業内容 : 雨水ポンプ設備改築工事、沈砂池設備、除塵機設備、電気設備改築工事及び耐震補強工事
- 全体事業費 : 約28億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間 : 令和2年度～令和11年度

事業箇所



老朽化したポンプ設備(新堀雨水ポンプ場)



老朽化したポンプ設備(大淀雨水ポンプ場)



老朽化した沈砂池設備(大淀雨水ポンプ場)

事業の効果: ポンプ設備を改築することにより、雨水排水機能を確保する。